



## 2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月14日

上場会社名 木村化工機株式会社  
 コード番号 6378 URL <https://www.kcpc.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 康真

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理部門長 (氏名) 福田 正行

TEL 06-6488-2501

四半期報告書提出予定日 2019年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	9,602	2.1	732	21.9	745	22.9	497	23.5
2019年3月期第2四半期	9,408	1.0	937	30.2	967	28.8	649	36.6

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 404百万円 (34.1%) 2019年3月期第2四半期 614百万円 (3.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	25.15	
2019年3月期第2四半期	32.86	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	24,136	11,236	46.6
2019年3月期	27,167	11,077	40.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 11,236百万円 2019年3月期 11,077百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期				12.00	12.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)				8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,300	1.0	1,360	38.4	1,400	38.4	930	38.6	47.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期2Q	20,600,000 株	2019年3月期	20,600,000 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2020年3月期2Q	825,578 株	2019年3月期	825,578 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期2Q	19,774,422 株	2019年3月期2Q	19,774,422 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
	(1) 経営成績に関する説明	2
	(2) 財政状態に関する説明	3
	(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2.	四半期連結財務諸表及び主な注記	4
	(1) 四半期連結貸借対照表	4
	(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
	(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
	(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
	(継続企業の前提に関する注記)	10
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
	(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
	(セグメント情報)	11
3.	その他	12
	(受注、売上及び受注残の状況)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出を中心に弱さが続いているものの、雇用・所得環境は改善が続き、企業収益は高水準で底堅く推移する等、緩やかな回復基調で推移しましたが、米中通商問題を巡る緊張の増大が世界経済に与える影響および原油価格の上昇や金融資本市場の変動の影響等から景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

また、当社の業績に影響のある国内向け設備投資につきましては、中国経済の減速等を受けた外需の低迷が輸出企業の設備投資抑制に作用したものの、人手不足を背景とした合理化・省力化投資や老朽化に対応した維持・更新投資、新技術活用のための研究開発投資がけん引し、一部には能力増強投資を計画・実施する動きもある等、増加基調で推移しました。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間における業績につきましては、受注高は15,816百万円と前年同四半期に比べ4,203百万円の増加(+36.2%)となり、売上高は9,602百万円と前年同四半期に比べ194百万円の増加(+2.1%)となりました。

損益面につきましては、営業利益は732百万円と前年同四半期に比べ205百万円の減少(△21.9%)、経常利益は745百万円と前年同四半期に比べ221百万円の減少(△22.9%)となり、その結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は497百万円と前年同四半期に比べ152百万円の減少(△23.5%)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ① エンジニアリング事業

化学機械装置の設計・製作・据付工事を行うエンジニアリング事業につきましては、主要機器を自社工場で作成する強みを活かし、設計・製作・調達・現地工事・工程管理・試運転までを一貫して行うプラントエンジニアリング(EMPC)方式での受注拡大を図るべく設備投資を計画する顧客を中心に技術力を前面に打ち出した企画提案を積極的に展開いたしました。

その結果、受注高は7,237百万円と前年同四半期に比べ1,972百万円の増加(+37.5%)となりましたが、売上高は3,414百万円と前年同四半期に比べ433百万円の減少(△11.3%)となり、セグメント利益(営業利益)は39百万円と前年同四半期に比べ259百万円の減少(△86.8%)となりました。

※「EMPC」とは、プラント建設業界では一般的に知られている「EPC」(設計(Engineering)、調達(Procurement)、建設(Construction)の略)に、製造(Manufacturing)の「M」を加えた当社造語(商標登録済み)であります。

## ② 化工機事業

化学機械装置の現地工事・メンテナンス業務を行う化工機事業につきましては、主要商品の能力増強や生産設備の更新等に投資を行う企業も一部には見受けられましたが、景気の先行き不透明感が続く中、顧客の多くは設備投資に対して慎重な姿勢を維持し、既存設備の定期修理およびメンテナンス工事が主たる業務となりました。

その結果、受注高は4,324百万円と前年同四半期に比べ641百万円の増加(+17.4%)、売上高は3,941百万円と前年同四半期に比べ396百万円の増加(+11.2%)となり、セグメント利益(営業利益)は419百万円と前年同四半期に比べ23百万円の増加(+6.0%)となりました。

## ③ エネルギー・環境事業

原子力を含むエネルギー・環境関連機器の設計・製作・据付工事を行うエネルギー・環境事業につきましては、再稼働に向けた安全審査に進捗が見られる原子力発電所および核燃料サイクル施設では青森県六ヶ所村でのMOX燃料製造設備関連業務、また、福島第一原子力発電所関連の廃止措置に向けた各種装置を受注すべく営業活動を展開いたしました。

その結果、受注高は4,253百万円と前年同四半期に比べ1,589百万円の増加(+59.6%)、売上高は2,246百万円と前年同四半期に比べ231百万円の増加(+11.5%)となり、セグメント利益(営業利益)は273百万円と前年同四半期に比べ30百万円の増加(+12.4%)となりました。

なお、当社グループは、通常の営業形態として、年度末に完成する工事の割合が大きいため、各四半期の生産、受注及び販売の状況の間に著しい相違があり、四半期毎の業績に季節的変動があります。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 財政状態の状況の分析

## (資産)

流動資産は15,842百万円と前連結会計年度末に比べ2,896百万円の減少(△15.5%)となりました。これは主として、現金及び預金が1,850百万円、受取手形及び売掛金が1,343百万円、それぞれ減少したことによります。

固定資産は8,294百万円と前連結会計年度末に比べ135百万円の微減(△1.6%)となりました。

この結果、総資産は24,136百万円と前連結会計年度末に比べ3,031百万円の減少(△11.2%)となりました。

## (負債)

流動負債は8,944百万円と前連結会計年度末に比べ3,072百万円の減少(△25.6%)となりました。これは主として、仕入債務(支払手形及び買掛金、電子記録債務)が合計で1,608百万円、前受金が943百万円、それぞれ減少したことによります。

固定負債は3,954百万円と前連結会計年度末に比べ117百万円の微減(△2.9%)となりました。

この結果、負債合計は12,899百万円と前連結会計年度末に比べ3,190百万円の減少(△19.8%)となりました。

## (純資産)

純資産合計は11,236百万円と前連結会計年度末に比べ159百万円の微増(+1.4%)となりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は46.6%となりました。

## ② キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、営業活動により1,252百万円減少、投資活動により100百万円減少、財務活動により480百万円減少したこと等により、当第2四半期連結累計期間期首に比べ1,850百万円減少(前年同四半期末比397百万円減少)し、当第2四半期連結会計期間末には4,903百万円となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動により資金は1,252百万円減少し、前年同四半期の47百万円の流入から1,300百万円変動し、流出に転じました。主な要因は、前受金が減少したことなどです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動により資金は100百万円減少し、前年同四半期に比べ27百万円流出が減少致しました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出の減少です。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動により資金は480百万円減少し、前年同四半期に比べ202百万円流出が増加致しました。主な要因は、短期借入れによる収入がなかったことなどです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期累計期間の業績につきましては、売上高は、ほぼ当初の予定通りに推移いたしました。利益面ではコスト管理の徹底を行ったことによる原価率の改善により、営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益とも当初予想を上回りました。

第3および第4四半期につきましては、当社グループは、一丸となり、引き続き受注・売上拡大に向け組織体制の強化を進めるとともに営業活動を積極的に展開してまいります。また、原価低減および販管費等コスト削減にも継続して努め利益の増加を図る所存です。

なお、2020年3月期通期の業績予想につきましては、上期に引き続きコスト管理の徹底を行うことを踏まえ、当初予想を修正いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,754	4,903
受取手形及び売掛金	10,037	8,694
仕掛品	1,310	1,901
原材料及び貯蔵品	39	42
その他	611	311
貸倒引当金	△14	△10
流動資産合計	18,738	15,842
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,580	1,550
機械装置及び運搬具（純額）	269	233
工具、器具及び備品（純額）	70	75
土地	3,678	3,678
リース資産（純額）	84	76
建設仮勘定	0	0
有形固定資産合計	5,682	5,615
無形固定資産		
	24	25
投資その他の資産		
投資有価証券	1,431	1,291
退職給付に係る資産	485	516
繰延税金資産	749	789
その他	60	60
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	2,721	2,653
固定資産合計	8,429	8,294
資産合計	27,167	24,136

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,605	4,043
電子記録債務	2,526	1,480
短期借入金	511	449
リース債務	30	29
未払法人税等	478	276
前受金	2,585	1,642
賞与引当金	470	386
役員賞与引当金	2	—
工事損失引当金	13	30
完成工事補償引当金	182	194
その他	610	412
流動負債合計	12,017	8,944
固定負債		
長期借入金	735	575
リース債務	61	53
役員株式給付引当金	94	144
長期末払金	110	110
退職給付に係る負債	2,042	2,033
資産除去債務	50	50
再評価に係る繰延税金負債	970	970
その他	8	15
固定負債合計	4,072	3,954
負債合計	16,090	12,899
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,030	1,030
資本剰余金	103	103
利益剰余金	7,806	8,058
自己株式	△317	△317
株主資本合計	8,622	8,874
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	249	151
繰延ヘッジ損益	△0	△0
土地再評価差額金	2,200	2,200
退職給付に係る調整累計額	5	11
その他の包括利益累計額合計	2,455	2,362
純資産合計	11,077	11,236
負債純資産合計	27,167	24,136

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	9,408	9,602
売上原価	7,447	7,860
売上総利益	1,960	1,742
販売費及び一般管理費	1,022	1,010
営業利益	937	732
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	25	30
受取賃貸料	5	5
撤去費用等戻入益	9	—
その他	5	5
営業外収益合計	46	41
営業外費用		
支払利息	2	2
為替差損	9	20
支払手数料	4	5
その他	0	0
営業外費用合計	17	28
経常利益	967	745
特別損失		
投資有価証券評価損	0	—
貸倒引当金繰入額	—	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	967	745
法人税等	317	248
四半期純利益	649	497
親会社株主に帰属する四半期純利益	649	497



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	649	497
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△51	△98
繰延ヘッジ損益	0	△0
退職給付に係る調整額	15	6
その他の包括利益合計	△35	△92
四半期包括利益	614	404
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	614	404

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	967	745
減価償却費	113	119
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△4
賞与引当金の増減額(△は減少)	△29	△83
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△1	△2
工事損失引当金の増減額(△は減少)	10	17
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	1	12
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	47	50
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	17	△39
受取利息及び受取配当金	△25	△30
支払利息	2	2
為替差損益(△は益)	9	19
固定資産除却損	0	0
投資有価証券評価損益(△は益)	0	—
売上債権の増減額(△は増加)	842	1,343
たな卸資産の増減額(△は増加)	△138	△594
その他の資産の増減額(△は増加)	△300	299
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,199	△1,611
前受金の増減額(△は減少)	57	△943
その他の負債の増減額(△は減少)	△98	△139
その他	—	8
小計	273	△829
利息及び配当金の受取額	25	30
利息の支払額	△2	△2
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△249	△450
営業活動によるキャッシュ・フロー	47	△1,252

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△124	△96
無形固定資産の取得による支出	△2	△3
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
貸付金の回収による収入	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△128	△100
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	150	—
長期借入金の返済による支出	△252	△222
リース債務の返済による支出	△12	△15
配当金の支払額	△163	△243
財務活動によるキャッシュ・フロー	△277	△480
<b>現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	△9	△17
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△367	△1,850
現金及び現金同等物の期首残高	5,669	6,754
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,301	4,903

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

該当事項はありません

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

・税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

## (セグメント情報)

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

・報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
	エンジニア リング事業	化工機事業	エネルギー ・環境事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,848	3,545	2,014	9,408	—	9,408	—	9,408
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10	736	62	809	—	809	△809	—
計	3,858	4,281	2,077	10,217	—	10,217	△809	9,408
セグメント利益	298	395	243	937	—	937	—	937

(注)1. 調整額は以下の通りであります。

売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2. セグメント利益(合計)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

・報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
	エンジニア リング事業	化工機事業	エネルギー ・環境事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,414	3,941	2,246	9,602	—	9,602	—	9,602
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	75	—	76	—	76	△76	—
計	3,415	4,016	2,246	9,678	—	9,678	△76	9,602
セグメント利益	39	419	273	732	—	732	—	732

(注)1. 調整額は以下の通りであります。

売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2. セグメント利益(合計)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 3. その他

(受注、売上及び受注残の状況)

セグメント	期別 前第2四半期連結累計期間 自 2018年4月1日 至 2018年9月30日		当第2四半期連結累計期間 自 2019年4月1日 至 2019年9月30日		前連結会計年度 自 2018年4月1日 至 2019年3月31日	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
(受注高)						
エンジニアリング事業	5,264	45.3	7,237	45.8	9,284	42.9
化工機事業	3,682	31.7	4,324	27.3	7,919	36.6
エネルギー・環境事業	2,664	23.0	4,253	26.9	4,423	20.5
合計	11,612	100.0	15,816	100.0	21,627	100.0
(売上高)						
エンジニアリング事業	3,848	40.9	3,414	35.6	7,592	35.3
化工機事業	3,545	37.7	3,941	41.0	8,069	37.5
エネルギー・環境事業	2,014	21.4	2,246	23.4	5,849	27.2
合計	9,408	100.0	9,602	100.0	21,510	100.0
(受注残高)						
エンジニアリング事業	8,278	40.3	12,354	50.2	8,554	46.4
化工機事業	2,666	13.0	2,761	11.2	2,378	12.9
エネルギー・環境事業	9,585	46.7	9,518	38.6	7,510	40.7
合計	20,530	100.0	24,633	100.0	18,443	100.0
(注) 輸出状況	(前第2四半期連結累計期間)		(当第2四半期連結累計期間)		(前連結会計年度)	
輸出関係売上高(百万円、%)	665	7.1	1,473	15.3	1,611	7.5
エンジニアリング事業	562	6.0	1,468	15.3	1,505	7.0
エネルギー・環境事業	102	1.1	4	0.0	105	0.5